

# OSS DNSサーバソフトウェア アップデート情報

IIJ

Internet Initiative Japan

株式会社 インターネットイニシアティブ  
島村 充 <simamura@iij.ad.jp>

Ongoing Innovation



# BIND9

# 前回までの脆弱性のおさらい

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
2009							◎					
2010							◎					◎
2011		◎			○	◎	◎					○/◎
2012						◎	○		◎	◎		○
2013	○		◎			◎	◎					
2014	◎				◎	◎						○/◎
2015		○					◎/◎		◎			◎
2016	◎		◎									

※ JPRSさん「DNS関連技術情報」にて“(緊急)” → ◎ 無印 → ○  
同日公開のものは1つにまとめてある

# その後 1 年分の脆弱性

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
2009							◎					
2010							◎					◎
2011		◎			○	◎	◎					○/◎
2012						◎	○		◎	◎		○
2013	○		◎			◎	◎					
2014	◎				◎	◎						○/◎
2015		○					◎/◎		◎			◎
2016	◎		◎				○		◎	◎	◎	
2017	◎	○		◎	△	◎						

# 脆弱性サマリ

---

- 脆弱性が発表された回数: 9回(月)/13月
- 脆弱性の件数: 15件 (うち "緊急" 8件(6回))

# 脆弱性分析

---

- 無条件コロリ: 4回(6件)
- DNS64 & 別の機能の組合せ: 2件
- 最近の追加機能で落ちる: 2件
- lwresd: 1件
  - 9.12で削除予定
- 脆弱性を修正したら、別の脆弱性: 1件
- Windows Installerで権限昇格: 1件

# 脆弱性分析

---

- 本家は平気だけど、distributionのpackageが影響を受ける: 2件
  - ◆ RHEL5,6, Ubuntu, Debianのみで影響
    - [CVE-2016-2848](#) 坂口さんが見つけた物
      - » 本家は過去のリリース時の修正で影響を受けなくなっていた
  - ◆ RHEL6のみで影響
    - [CVE-2017-3139](#) DNSSEC validation有効のときに落ちる

# 脆弱性分析

---

- BINDコロリは未だ出尽くしていなかった
- .0は、やはり枯れていなくて危ない
  - 新機能追加→脆弱性のループは継続
- 今のBIND9は開発者にも手に負えない
  - 9.12でrefactoringするための[資金集め](#)中
    - ◆ [次のESVは9.11です](#)が、そちらにはマージされませんよね…。
      - 9.11以下で潜んでいる脆弱性はそのまま
      - refactoringして、潜んでいた脆弱性が見つかる可能性



# 脆弱性分析

- 脆弱性の修正で別の脆弱性が混入
  - 4月の脆弱性は、元々は3月中に出る予定だったが、修正が不十分だった OR 追加の脆弱性が見つかったかで、4月までリリースが遅れた模様
    - ◆ 9.9.9-P7, 9.10.4-P7, 9.11.0-P4が欠番になっている
    - ◆ gitのpushが30日以上止まっていた (最終的に57日)
    - ◆ shodanでP7, P4が一旦観測されていた
- 余談: P8は圧巻 (いままでの最高はP4まで)

# new release

---

- BIND 9.11.0 (10/4)

- 新機能沢山

- ◆ Catalog zone, LMDB(\*), DynDB, dnstap, dnsec-keymgr, SERVFAIL TTL, Negative Trust Anchor, EDNS Client Subnet(auth), EDNS EXPIRE, 新RR Type, minimal-any, fetch limit default ON

- \*) ゾーンの動的な追加・削除で不具合あり (~9.11.1)

- ※ **次期ESV**。現ESVの9.9は2018/06まで

- BIND 9.9.10, 9.10.5, 9.11.1 (4/19)

# BIND以外

# 脆弱性

---

- 無限AXFR/IXFR

- DNS Summer day 2016で[坂口さんが発表した物](#)
- 各権威DNSサーバ実装が影響を受けた

- PowerDNS

- 細工されたクエリでCPU浪費
- 細工したゾーン情報でinteger overflow

# 脆弱性

---

- TSIG鍵の検証不備
  - PowerDNS
  - KnotDNS

*these versions fix a flaw within the TSIG protocol implementation that would allow an attacker with **a valid key name and algorithm to bypass the TSIG authentication** if no additional ACL restrictions is set.*

[2.5.2, 2.4.5リリースアナウンス](#)より

# 新機能

---

- Unbound
  - view機能(!)
  - serve-expired
  - source IP rate limit
  - Response actions based on IP address
  - EDNS Client subnet

# 新機能

---

- PowerDNS Authoritative Server
  - ALIAS record, API, Dynamic DNS
- PowerDNS Recursor
  - RPZ, EDNS Client subnet

Ongoing Innovation

IIJ Internet Initiative Japan

Any Questions?

本書には、株式会社インターネットイニシアティブに権利の帰属する秘密情報が含まれています。本書の著作権は、当社に帰属し、日本の著作権法及び国際条約により保護されており、著作権者の事前の書面による許諾がなければ、複製・翻案・公衆送信等できません。IIJ、Internet Initiative Japanは、株式会社インターネットイニシアティブの商標または登録商標です。その他、本書に掲載されている商品名、会社名等は各会社の商号、商標または登録商標です。本文中では™、®マークは表示していません。

© Internet Initiative Japan Inc. All rights reserved. 本サービスの仕様、及び本書に記載されている事柄は、将来予告なしに変更することがあります。